

令和4年度 児童発達支援事業所自己評価の集計結果（公表）

公表日 令和4年2月24日

事業所名 児童発達支援事業かやま保育園 ぱんだ組

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、 課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		0		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	2	・産休、育休職員の代わりに職員は配置されておらず、特に行事の時に人員不足となる。	・ コロナウイルス感染症に起因する欠席が多かったこともあるが、1日の利用人数に応じて職員のシフトを組むことで、療育に必要な人員を配置していた。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	・個々に合わせた環境設定など心がけている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	・職員と話し合いながら子どもたちの活動に合わせて環境を工夫している。 ・感染症対策に気を配りながら保育室や玩具は毎日消毒し、丁寧に掃除を行うように心がけている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	・定期的に所内で研修を行い、外部での研修会にも積極的に参加している。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	0	・生活動作、コミュニケーションなどのADLがどのような段階なのかアセスメントすることができれば、支援の目指すところが明確になり、保護者や関係機関へ情報提供が行いやすくなると思う。	・発達検査の種類を見直すとともに、カンファレンスで話し合って適切なアセスメントを行う。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	・遠城寺発達検査以外のアセスメントができるとよい。必要に応じて相談室STが発達検査を行う等の対応があるとよい。	・遠城寺式発達検査以外の方法について職員間での研修を行うほか、STによる検査も実施していく。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0		・個別支援計画については、発達支援、家族支援、地域支援それぞれの項目で具体的な内容が記載されている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	・支援計画に上げたねらいを、月間の個別療育記録にも記載している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	・リーダーが週案を立て、前日のカンファレンスで内容を再度検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	・集団遊びや、部屋での活動は季節感を持たせ様々な工夫を感じるが、支援としての意図がわかりにくいものが見られる。 ・遊びを通して何を支援するのかを明確にし、保護者に説明することが必要。	・同じ遊びでも、お子さん一人ひとりの発達に合わせた提供の仕方を工夫する。 ・グループ内でねらいや意図を打合せ、職員全員が保護者への説明ができるようにする
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	7	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	・前日と、当日の朝に必ず打ち合わせをしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	・その日のうちに、カンファレンスを行い、振り返りや気付いたこと等を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	・カンファレンスは丁寧にしているが、その日の個人のねらいや、その働きかけに対する反応などの記録、保護者の様子や対応についての記入があると、日々の療育の目的が明確になると思う。	・記録については定期的に児童発達支援管理責任者が確認しているが、職員間で様式の見直しを検討したい。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	・誕生月に更新、半年後に見直しを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	0	・電話対応や訪問を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	0	・てんかんのフローチャートを作成し、子どもの主治医に確認してもらっている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・在籍園への訪問を通して、担任と情報共有をしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・情報提供書の作成や電話などで、支援内容等の情報共有をしている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	・東特別支援学校、児童発達支援センターでの研修や情報交換を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	0	・コロナ禍で今年度は回数が少なかったが、感染症が落ち着いている時期は、かやま保育園と交流保育を行っている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	7	0		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいや支援内容が保護者に伝わらないことがある。</li> <li>・児童発達支援ガイドラインについて、面談を行う際に保護者に説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々のスキルにもよるので、研修などを行い職員の資質向上に努める。</li> </ul>
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・翌日の準備のために、計画案などが机に出された状態のままになっていることがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いについては、新潟市の情報セキュリティマニュアルを再度周知していく。</li> </ul>
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ流行に伴い、外部との交流はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の社会情勢等も踏まえて考えていく。</li> </ul>
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがあった時は、すぐに記入し職員と対策を話し合っている。</li> <li>・併設の保育園との共有がされていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設園との共有が十分ではなかったので、ヒヤリハット事例の共有できる方法を協議する。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0		